

# 投 光 器

国労東海貨物協議会  
2018年3月7日  
発行責任者 鈴木和巳

## 2018春闘勝利！3.6中央総決起集会を開催！

国労は3月6日（10時より）、18春闘行動の一環として国会議員への要請行動を行いました。

要請行動は全国から組合員が衆議院第2議員会館に結集し、衆参  
国土交通委員及び北海道・四国・九州選出議員179名に対して、

①JR各社の鉄道路線の維持・存続に必要な制限的措置、②必要な  
法改正や制度整備への働き掛け、③安全文化の構築への指導や働き

掛け、④JR北海道・JR四国に対する経営安定基金の追加的積み増し及び税制の三島特例の延長  
と恒久化、⑤鉄道基盤の維持に対する公的助成の制度的な仕組みの検討、⑥鉄道軌道整備法の適用  
範囲の拡大及び補助率・補助額のかさ上げ、⑦JR貨物の経営改善・経営安定化を図るダイヤ設定  
及びアボイダブルコストルールの恒久化、⑧リニア中央新幹線の建設に対する安全問題などの指導  
と働き掛け-の8項目と、国労が作成した「JR発足30年にあたって、鉄道政策に関する提言」  
のパンフと合わせ要請を行いました。



午後からは代々木公園野外ステージに場所を移し、「2018春闘  
勝利！3.6中央総決起集会」が開催されました。総決起集会へは  
東海貨物協議会から11名（前日からの青婦家行動に参加の青年部  
2名）を含め13名の組合員が結集し集会に参加してきました。

総決起集会は国労本部佐々木副委員長の司会で始まり、主催者として国労本部菊池委員長の挨拶  
を受け、来賓の交運労協高松事務局長、全労協金澤議長、平和フォーラム勝島事務局長、日本労働  
弁護団福田弁護士から挨拶をいただき、続いて国労本部松川書記長から「2018春闘に向けた取  
り組み」の提起と報告を受け、北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州各本部代表者及び全国  
貨物協議会代表者から決意表明が述べられ、最後に中嶋青年部長による「団結ガンバロー」で18  
春闘勝利！3.6中央総決起集会は終了しました。

集会終了後、15時30分よりデモ行進が行われ、代々木公園野外  
ステージを出発し、JR貨物本社前では貨物会社に対して「19年連  
続のバアゼロ阻止、貨物労働者の労働条件改善」など力強いシュプレ  
ヒコールで訴えてきました。その後、新宿公園まで約1時間10分に  
亘るデモ行進が終了し、18春闘勝利へ向けた一日行動は無事終了しました。



早朝からの一日行動、また前日からの行動に参加された組合員の皆さん、大変ご苦労様でした。